

プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル乳剤 アカリタッチ乳剤	取扱メーカー： 石原，O A T 原体メーカー： O A T
成分： プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル……………70.0% その他 PRTR 該当成分： ポリオキシエチレンアルキルエーテル〔PRTR・1 種〕……………9.0%	性状： 無色透明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第3石油類（非水溶性）・危険等級Ⅲ

【品目特性】 ……………

- ダニに対して接触型の物理的作用で，ダニの気門封鎖によってダニを窒息死させる。
- 効果は極めて速効的。
- 従来の殺ダニ剤との作用性の違いからダニに抵抗性発達の懸念が少なく，連続散布が可能である。
- 主成分のプロピレングリコールモノ脂肪酸エステルは食品添加物としてケーキの起泡剤に使用されるもので，容易に炭酸ガスと水に分解されるので環境に優しい薬剤である。
- 各種ハダニ類（ミカン，ナミ，カンザワ）の幼虫，若虫，成虫に速効的に作用する。殺卵効果はない。
- チリカブリダニも含め，天敵・有用昆虫に影響が少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】 ……………

- 散布液が直接害虫にかからないと効果がないので，害虫にムラなくかかるよう，葉の表裏へ丁寧に十分散布する。
- 卵には効果がなく，残効性も期待できないので，害虫の増殖や圃場からの飛び込みが活発な時には，5～10日間隔で連続2回散布や，他剤とのローテーション散布を行う。
- うどんこ病に使用する場合，発生初期に散布する。発病後並びに急速な病勢の進展時は5～7日程度の間隔で連続2回散布や，他剤とのローテーション散布を行う。
- 散布液の調製に際しては，よくかき混ぜ，調製後はなるべく早く使用する。

【薬効・薬害等の注意】 ……………

- かんぎつに使用する場合，濃度が濃くなった場合や高温時期に，果実に薬害を生じるおそれがあるので，使用濃度を厳守し，高温時の散布をさける。なお，普通温州以外では幼果期及び果実肥大期はできるかぎりさけ，特に所定の高濃度での散布はさける。
 - 日本なしに使用する場合，果実に薬害を生じるおそれがあるので使用濃度を厳守し，特に幼果期の散布はさける。
 - ホップに使用する場合，稈実に薬害を生じるおそれがあるので，使用濃度を厳守する。
 - おうとうに使用する場合，果実に薬害を生じるおそれがあるので，果実に散布する場合は所定範囲内の低濃度で使用し，特に果実黄化期における散布はさける。
 - 適用作物（みかん，いちご）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
 - 共通注意事項8．適用作物群に関する注意事項を参照。
 - 低温時に凝固することがあるが，融解後の成分に影響はない。
- ### 【安全対策上の注意】 ……………
- 火気には十分注意する。

【適用と使用法】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	プロピレングリコールモノ/脂肪酸 エステルを含む農薬の総使用回数
野 菜 類	ハダニ類	1000～3000倍	100～	前日まで	—	散布	—
	うどんこ病	2000倍	400 ℓ				
果 樹 類 (おうとう を 除 く)	ハダニ類	1000～2000倍	200～ 700 ℓ				
		1000～3000倍					
お う と う							
ホ ッ プ	ハダニ類	2000倍					
	うどんこ病						
い も 類	ハダニ類	2000～3000倍	100～				
	うどんこ病	2000倍	400 ℓ				